民報 あばしり
NO.1345
12月12日号
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
TEL 四四三一－四四五八
FAX 四四三一－四四五七

網走市議会第4回定例会

補正予算、国保条例改正など

12月7日～16日

第4回定例会が12月7日から始まりました。一般会計と国民健康保険など3特別会計の補正予算と国民健康保険条例の改正などが審議されます。

補正予算の内容としては、市の管理する施設の暖房費や燃料費の経費の増、流氷館の改修費、子育て世帯への給付などが主なものです。

オホーツク流氷館は展示物をリニューアルするため、令和3～4年度に渡り改修する予定です。

子育て世帯へ5万円

国が行う子育て世帯への給付金については、18才以下の子どもへ1人当たり5万円を給付するものです。

児童手当受給者へは年内に、高校生などは1月中旬以降の支給となる予定です。

一般質問　デジタル化、温暖化防止　原油高騰、コロナ対応

一般質問は14日～16日に行われ、10名の議員が行います。

村椿議員は、行政のデジタル化に対する市の考えや、個人情報保護条例との関係について質問します。また、気候危機を打開するための地球温暖化防止の取り組みについて質問します。

松浦議員は、原油価格高騰で農林漁業、交通業、福祉施設の影響や支援について質問します。また、コロナ禍での病院削減、中小業者や飲食店への対応について質問します。

村椿議員は5番目、松浦議員は9番目に行います。市民の皆さんの傍聴をお願いします。

おもな補正予算の内容

名　称	金　額	対　象
子育て世帯給付	2億4,260万円	18才以下　4,750人
オホーツク流氷館改修費	700万円（R3） 1億1,300万円（R4）	詳細設計 工場製作、設置工事
暖房費・燃料費の経費	2,990万円	庁舎、体育館、プール、エコセンターなど19施設

ストップの会　12月の行動予定

18日（土）11時～　定例宣伝　駒場、北

松浦さとし奮戦メモ！

臨時国会がはじまり岸田首相が所信表明をしましたが、驚くことに「敵基地攻撃能力」の検討を表明し、憲法改悪への強い執念を示しました。「安倍・菅政治継承」だけでなく、岸田政権の危険性が見えてきました。

それにしても内閣総理大臣が、このような事を国会の場で言うことではありません。そもそも憲法99条では「憲法尊重擁護の義務」があって「天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ。」と書いています。全ての公務員は憲法を守る義務があるということです。ところが近年の総理大臣や国会議員のかなりの人が、憲法99条を理解していません。

国民は、憲法を変えたいと考えて、そのことを主張し行動することは認められています。しかし、国会議員や公務員は憲法を守る義務があるのですから、安易に憲法を変えるなどと口にすることは憲法違反になるのです。私は、憲法99条については、そのように理解していますが、日本語を正しく理解すると、そうなると思うのですが、みなさんはどう思いますか。

神ちゃんが駆ける

先々週は風が強くて我が家はギシギシと音をたてていました。屋根が飛んだ、電柱が倒れたなど道内各地で被害が出ました。気候危機がまぢかに迫っています。日本は世界第5位の二酸化炭素排出国ですから、本格的に取り組まなくてはいけません。

網走市は流氷が訪れる街、砕氷船オーロラ、夏にはクジラを見ることもできます。農業、漁業が基幹産業と本当に自然を相手にして暮らしをしています。その自然が温暖化で壊されそうになっている時ですから、すぐに取組んでいくべきです。環境省が地域から再生可能エネルギーを大胆に増やし、会社や住宅の断熱で省エネルギーをすすめるなどを打ち出しています。若い人達の働く場も増えます。

先日、網走港では、大勢の人が釣りざおや玉網でわかさぎを取ってました。このすばらしい自然を残すために力を尽くしたいです。

流氷

一年のしめくくり、恒例の「いわさきちひろカレンダー」を持ち歩き、募金活動を始めています。出稼ぎ労働者時代を除き、青年時から毎年販売購入していただいて約50年になりました。「良くもまあ元気で居たものです、お互いに」などと話しながら募金をいただき、カレンダーを置いてきます。今年の春に義母が他界された方、現在義父を介護中の人、孫が大学卒業しても就職が決まらず心配なおばあちゃん。昨年も今年も「コロナ」でイベントを決められない人、終活の話になり土地や建物を処分できない人、若くてエネルギーが満ちあふれている時代から、長い間お世話になっている人達ばかりです。今年の7月末に1人暮らしの私の叔母が庭で倒れているところをレスキューしていただいた方のお姉さまの話など世の中の狭さを感じながらの募金活動になりました。▼政治の「うそ」や「ごまかし」。岸田首相の所信表明演説は、「今だけ」「金だけ」「自分だけ」の非情な「すがた」が見えて悲しくなります。学生や子ども達が食べられない、大人の仕事がない、年金が少なくて死ぬまで働く。野垂れ死んでも手をかけない的風潮に「こんな世情に誰がした」と怒ってます。今こそ、怒りを「錨」に変えて住民と連帯のアンカーを打ち力をためて来年夏のチャンスに備えたい。

北見生活と健康を守る会
副会長　神田　優